帳票ＩＤ	0100047	適合基準日：令和９年４月１日
帳票名称	納税通知書	

項番	印字項目		実装必須項目	標準オプション項目	備考	諸元表										
	大分類	小分類				内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	文字溢れの対応	データを保持していない場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
25		年税額の内訳―年金からの特別徴収税額前	●			999,999,999,999 【編集例】 ＜新規の場合＞ 編集しない。 年金特徴税額を編集する。 ＜変更の場合＞ 年金特徴税額（変更前）を編集する。 年金特徴税額（変更後）を編集する。	1	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
160		年税額の内訳―年金からの特別徴収税額後	●			999,999,999,999 【編集例】 ＜新規の場合＞ 編集しない。 年金特徴税額を編集する。 ＜変更の場合＞ 年金特徴税額（変更前）を編集する。 年金特徴税額（変更後）を編集する。	1	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
26		年税額の内訳―普通徴収税額前	●			999,999,999,999 【編集例】 ＜新規の場合＞ 編集しない。 年金特徴税額を編集する。 ＜変更の場合＞ 年金特徴税額（変更前）を編集する。 年金特徴税額（変更後）を編集する。	1	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
161		年税額の内訳―普通徴収税額後	●			999,999,999,999 【編集例】 ＜新規の場合＞ 編集しない。 年金特徴税額を編集する。 ＜変更の場合＞ 年金特徴税額（変更前）を編集する。 年金特徴税額（変更後）を編集する。	1	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
142	異動（変更）事由		●		納税義務者本人に決定、変更した旨の通知文を印字する。	「下記のとおりＮＮしましたので通知いたします。」文言を、新規課税、変更の場合に分け、以下の例を参考に編集する。 【編集例】 ＜新規の場合＞ 下記のとおり決定しましたので通知いたします。 ＜変更の場合＞ 下記のとおり変更しましたので通知いたします。	1	無	全角	30/3	－	－	－	7	7	
132	備考欄			●	発行時に登録した内容を出力する 事業所・家屋敷課税に該当する場合は、その旨を印字できること	明確な印字領域は設けていないが、異動事由や問い合わせの近辺を想定している。異動事由領域に出力しても差し支えない。	1	有	全角	30/3	－	－	空白	9	9	
162	期別税額見出し	期別税額前見出	●		期割税額の見出しを印字する。	条件に応じて以下の文言を印字する。 ＜新規課税の場合＞ 期別税額前見出： 期別税額後見出：｢新　規｣ 期別充当額見出：｢充当額｣ 期別納付額見出： 期別差引額見出：｢差　引｣ ＜賦課更正の場合＞ 期別税額前見出：｢変更前｣ 期別税額後見出：｢変更後｣ 期別充当額見出：｢充当額｣ 期別納付額見出：｢納付済｣ 期別差引額見出：｢差　引｣	1	無	全角	3	－	－	－	9	9	
163		期別税額後見出	●				1	無	全角	3	－	－	－	9	9	
164		期別充当額見出	●				1	無	全角	3	－	－	－	9	9	
165		期別納付額見出	●				1	無	全角	3	－	－	－	9	9	
166		期別差引額見出	●				1	無	全角	3	－	－	－	9	9	
31	普通徴収の期別納付額と納期限	期別	●		全期通用時に印字	NNNN 【編集例】 第１期	7	無	全角	5	－	－	印字無し	7	7	
32		納期限	●		全期通用時に印字	NN●年●月●日 【編集例】 令和　２年10月31日	7	無	日付型	11	和暦/西暦	－	印字無し	7	7	
33		普通徴収税額前	●		金額を記載 期ごとの普通徴収税額を印字	999,999,999,999 【編集例】※□は空白を表す ＜新規課税の場合＞ 第１期 納期限　令和　５年　６月３０日 □□□ 新　規　　５，０００ 充当額　　３，５００ □□□ 差　引　　１，５００ ＜賦課更正の場合＞ 第１期 納期限　令和　５年　６月３０日 変更前　　３７，８００ 変更後　　４５，０００ 充当額　　０ 納付済　　５，０００ 差　引　　２，２００	7	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	